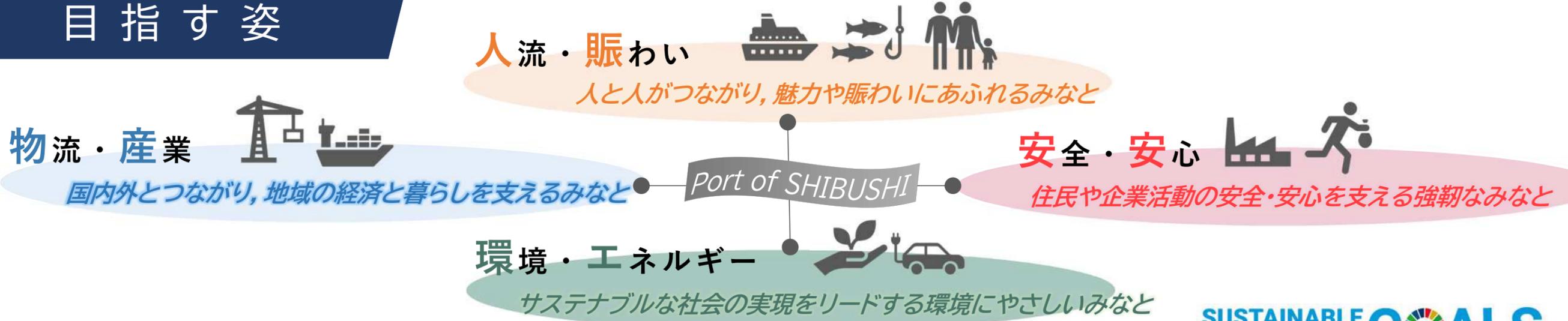


志布志港長期構想 < 概要版 >

基本理念

～地域のポテンシャルと稼ぐ力を引き出す、
世界に開かれた“志”あふれる 志布志港～

目指す姿



長期構想とは

<背景>

- ◆ 志布志港は、九州南東部の太平洋に面した地理的優位性と国内有数の農畜産地域である南九州地域を背後に有し、国内外の物流拠点、飼料供給基地として背後地域の**産業・経済を支える重要港湾**である。
- ◆ 昭和47年に港湾計画を策定し、直近の平成5年の改訂や、その後の一部変更等により**国際的な流通機能の充実を図るべき港湾**として位置づけ、整備を進めてきた。

<目的>

- ◆ 港湾を取り巻く環境の変化に対応するため、総合的な港湾空間の形成とあり方について、**目指すべき将来像**やその実現に向けた**空間利用計画**、**施策**などを「志布志港長期構想」としてとりまとめるものである。

<目標年次>

- ◆ 概ね**20年から30年先**



令和7年3月
鹿児島県

環境の変化

- ・農林水産物・食品輸出の増加
- ・道路交通ネットワーク整備によるアクセス性向上
- ・原木等取扱貨物の増加
- ・トラックドライバーの労働規制によるモーダルシフトの進展
- ・DXの進展, eコマース市場の急成長



【取組方針】

農林水産物・食品の輸出拡大等に対応した環境整備

モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化

穀物の安定的かつ効率的な海上輸送網の形成

港の地理的ポテンシャルを活かした臨海部の土地利用



物流・産業

【基本戦略】

県内及び南九州地域の安定的な物流や産業の発展を支える海上輸送拠点の形成

環境の変化

- ・インバウンド需要の増加
- ・港における賑わい・水辺空間の不足
- ・海釣り需要の高まり
- ・緑地公園の低利用化



【取組方針】

地域の新たなニーズに対応した賑わい・水辺空間の形成

賑わいと活気のある観光振興の推進

人流・賑わい

【基本戦略】

背後地域の観光振興を支える交流・賑わい拠点の形成



環境・エネルギー

【基本戦略】

環境に配慮した港づくりと背後地域の脱炭素化を先導するカーボンニュートラルポートの形成

環境の変化

- ・脱炭素社会の実現に向けた取組
- ・カーボンニュートラルポートの形成
- ・臨海部産業におけるエネルギー転換の要請



【取組方針】

脱炭素社会の実現に向けた港湾空間の形成

臨海部産業における脱炭素化の実現, 次世代エネルギー受入環境の創出

生物多様性による豊かな海の実現



環境の変化

- ・地震・津波等の自然災害リスクの高まり
- ・気候変動による影響
- ・既存インフラの老朽化, 維持管理費の増大

安全・安心

【基本戦略】

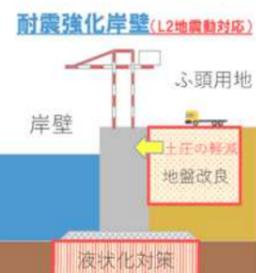
災害対応力の向上による安全かつ安定した防災拠点の形成

【取組方針】

大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策等の実現

津波災害時における港湾背後地域等への被害低減対策の実現

既存港湾施設の計画的かつ効率的な維持管理による港湾機能の保持



基本戦略 県内及び南九州地域の安定的な物流や産業の発展を支える海上輸送拠点の形成

取組方針 農林水産物・食品の輸出拡大等に対応した環境整備

施策 I-① 国際コンテナミルの機能強化

- ・コンテナ蔵置等のための用地不足解消のため、コンテナターミナルの拡張を図ります。
- ・農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、既存上屋を改修して冷凍・冷蔵施設等の整備を行います。

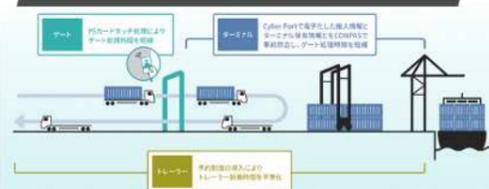


施策 I-② 情報通信技術を活用した港湾のスマート化

- ・民間事業者間の港湾物流手続を電子化する「Cyber Port」や、ゲート処理及びヤード内荷役作業を効率化する「COMPAS※」等の情報通信技術の活用を図ります。
- ・港に携わる担い手の確保・育成とIT技術の習得促進を図ります。

※ Container Fast Pass

COMPAS等による物流の効率化イメージ



担い手確保及びIT技術の習得



施策 I-③ 外貿定期コンテナ航路の拡充

- ・船社や荷主企業、商社等に対し、官民一体となったポートセールスやセミナーを開催するなど積極的なPR活動に取り組みます。
- ・県産品などの海上小口混載貨物輸送等、志布志港の利用促進を図るための支援を実施します。

ポートセミナーの開催



施策 I-④ バルク貨物(林産品)ターミナルの形成

- ・点在する原木ヤードを集約するため、新若浜地区に新たにバルク貨物(林産品)ターミナルを整備します。
- ・持続可能な林産品輸送体制の構築を検討します。

林産物輸出拠点ターミナルのイメージ



取組方針 モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化

施策 I-⑤ 次世代高規格ユニットロードターミナルの形成

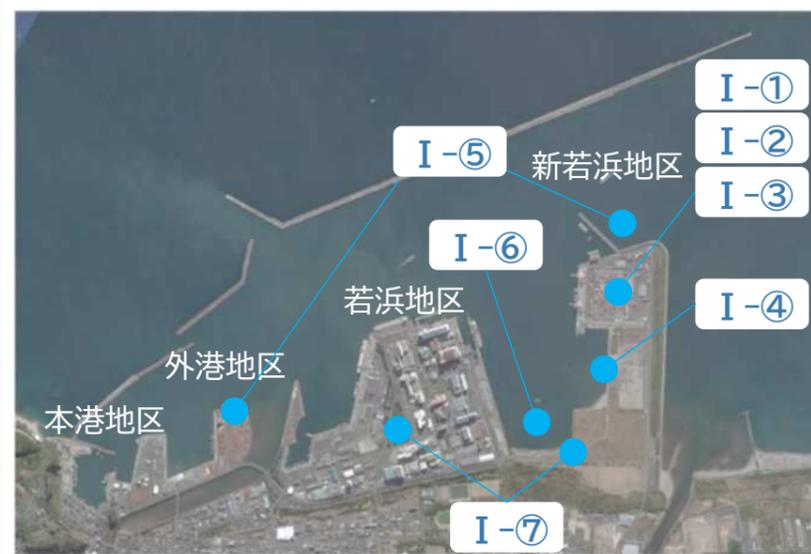
- ・外港地区にフェリー機能、新若浜地区にRORO機能を移転し、利便性・安全性の向上を図ります。
- ・モーダルシフトを促進する次世代高規格ユニットロードターミナルの形成を図ります。
- ・情報通信技術を活用した効率的なシャーシ管理システムの導入を図ります。

新若浜地区RORO機能移転のイメージ図



※このイメージベースは、あくまでもイメージであり、今後の協議等により変更になる可能性があります。

次世代高規格ユニットロードターミナルのイメージ図



取組方針 穀物の安定的かつ効率的な海上輸送網の形成

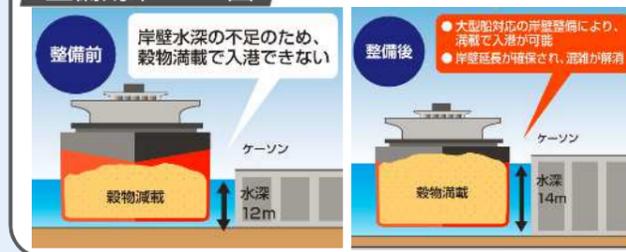
施策 I-⑥ 穀物の安定的かつ効率的な輸入拠点の整備

- ・安定的かつ効率的な輸入拠点の形成を図るため、大型穀物船に対応する耐震強化岸壁等を整備します。
- ・企業間連携による共同輸送の促進を図ります。
- ・荷役体制を考慮した岸壁の利用や位置付けを検討します。

現在整備中の大型穀物船対応の岸壁の位置



整備効果イメージ図



取組方針 港の地理的ポテンシャルを活かした臨海部の土地利用

施策 I-⑦ 産業用地の確保と企業立地の促進

- ・低利用となっている緑地公園を地域のニーズに基づく用途に変更することで、新たな産業用地の確保を図ります。
- ・アクセス性の高い企業用地を有効活用し、臨海部への高付加価値産業等※の誘致を促進し、雇用の創出を図ります。

産業用地のイメージ図



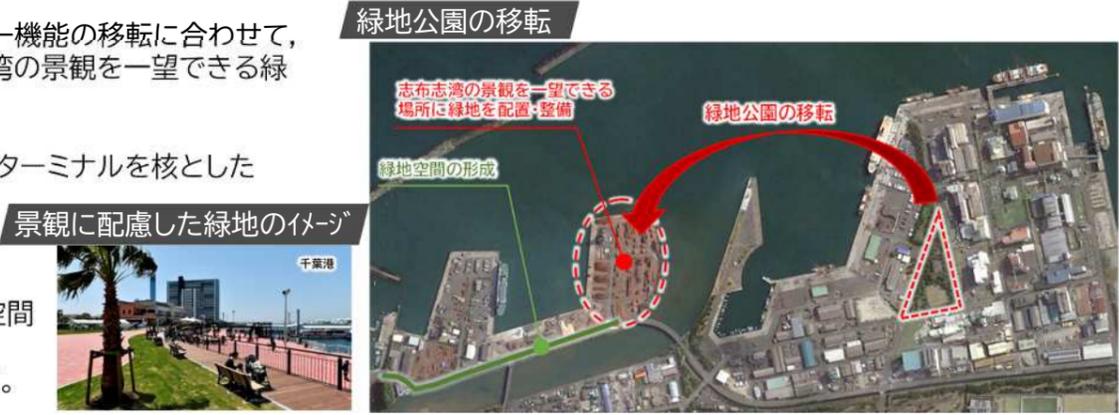
※地域資源活用型の工場(製造・加工・輸出機能)や流通加工等の機能を有する付加価値型の物流施設

基本戦略 背後地域の観光振興を支える交流・賑わい拠点の形成

取組方針 地域の新たなニーズに対応した賑わい・水辺空間の形成

施策 II-① 地域に開かれた緑地公園の拡充

- ・低利用となっている若浜地区の緑地公園をフェリー機能の移転に合わせて、市街地に近接している外港地区に移転し、志布志湾の景観を一望できる緑地を配置・整備します。
- ・外港地区へのフェリー機能の移転に伴い、フェリーターミナルを核とした賑わい空間の創出や臨港道路沿いの景観に配慮した緑地空間の形成を図ります。
- ・移転後の緑地は、市民や来訪者の憩いの場・親水空間としての形成を図ります。なお災害時においても安全・安心な環境となるよう防災面にも配慮します。



施策 II-② みなとを中心とした交流拠点の創出

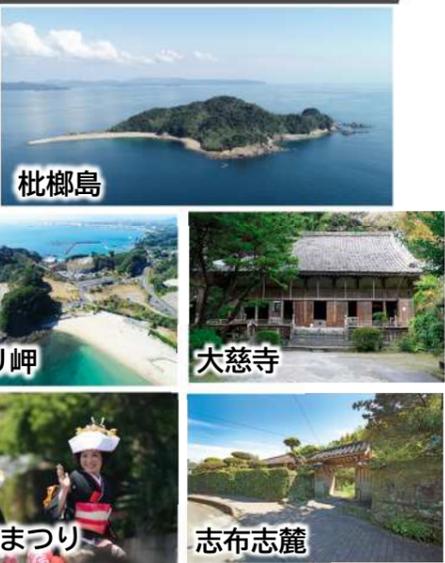
- ・観光客や地域住民が親しめる交流拠点に「みなとオアシス」制度の導入を検討するとともに、これらの機能強化を支援します。
- ・「みなと緑地PPP制度」等、民間の資金やノウハウの活用による新たな交流拠点の創出を検討します。
- ・行政や市民、企業、NPO等の連携・協働による地域の取組、海・みなとから見た地域づくり・地域創生の取組を促進します。



施策 II-③ クルーズ船の受入環境整備

- ・中小型クルーズ船は若浜地区旅客船頭、大型クルーズ船は外港地区での受入を図ります。
- ・ハード・ソフト両面からクルーズ船の受入環境を整備し、積極的な寄港誘致を促進します。
- ・寄港地観光として大隅地域の魅力ある地域資源や歴史的資源を活用し、広域周遊が可能なツアーメニューの造成を促進します。

志布志市の観光資源・イベント



「にっぽん丸」寄港時の様子



取組方針 賑わいと活気のある観光振興の推進

施策 II-④ 魅力的な観光コンテンツの創出

- ・インフラツーリズムやアドベンチャーツーリズム等の体験型観光コンテンツの充実を促進します。
- ・既存の防波堤等を有効活用や外港地区の海釣り公園整備等により、観光資源として地域の関係者による地方創生を目的とした釣り文化振興を推進します。

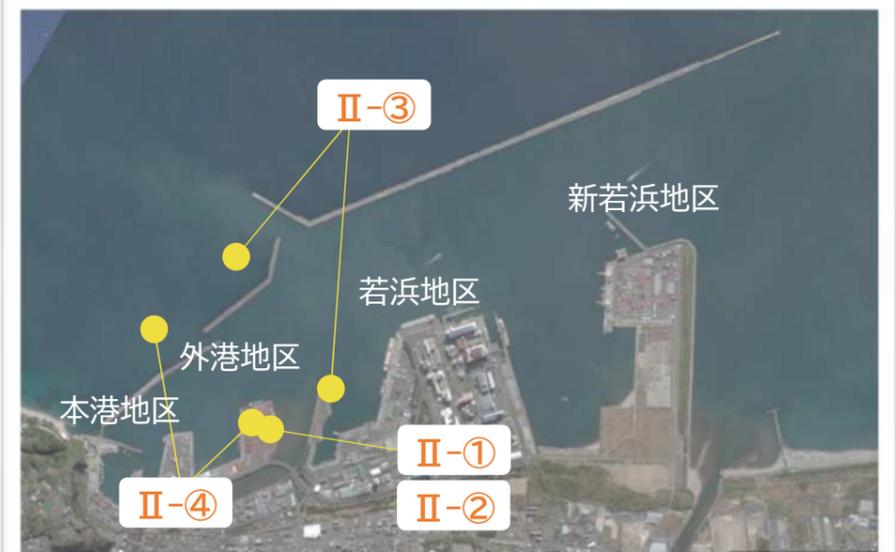
インフラツーリズムの例



アドベンチャーツーリズムの例



釣り文化振興の取組



基本戦略 災害対応力の向上による安全かつ安定した防災拠点の形成

取組方針 大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策等の実現

施策 III-① 災害に強い港湾施設・輸送網の形成

- ・幹線貨物等の輸送拠点としての機能向上を図るため、耐震強化岸壁を整備します。
- ・長周期波による港内水域への影響分析を行い、静穏度向上に向けた対策を検討します。

バルク岸壁(耐震強化岸壁)の整備

コンテナ・ミルの耐震化



施策 III-② 港湾施設等の整備に必要な作業船の係留場所の確保

- ・港湾機能の維持, 早期回復に必要な作業船の係留場所を外港地区に確保します。

作業船による漂流物の回収

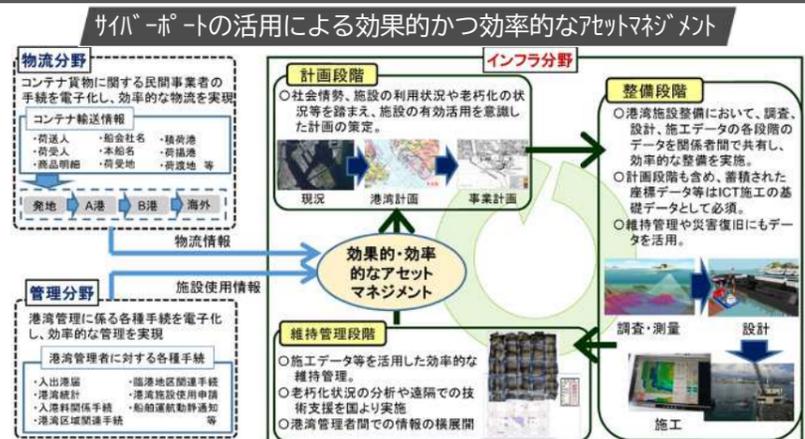
作業船を活用した電力関連会社の作業車両等の海上輸送



取組方針 既存港湾施設の計画的かつ効率的な維持管理による港湾機能の保持

施策 III-⑤ 戦略的なインフラマネジメントの推進

- ・予防保全計画に基づく計画的な点検, 補修, 長寿命化対策の実施, 新技術の活用を図ります。
- ・老朽化や利用状況, 地域のニーズに応じた施設の利用転換を図ります。
- ・サイバーポートの活用による効果的かつ効率的なアセットマネジメントを行います。



取組方針 津波災害時における港湾背後地域等への被害低減対策の実現

施策 III-③ 原木・コンテナ等流出防止対策の推進

- ・港湾の事業継続計画(港湾BCP)に基づく事前対策, 直前予防対応を実施します。
- ・原木・コンテナ等流出による被害軽減に効果的な流出防止対策の検討を行います。
- ・載置コンテナの安全対策を徹底します。

原木流出防止柵の事例



コンテナ流出防止策の事例



施策 III-④ 住民等避難体制の構築

- ・移動の円滑化に配慮した津波避難施設(新若浜避難施設・若浜避難高台)を整備します。
- ・防災教育, 防災訓練等の意識啓発活動を促進します。
- ・住民, 港湾関係者, 来訪者への確実な情報伝達手段の確保を支援します。

避難訓練の様子



津波避難施設の整備



(令和6年度整備完了予定)



<凡例>

- 物流関連ゾーン
- 船だまり関連ゾーン
- 人流関連・交流拠点ゾーン
- 緑地レクリエーションゾーン
- エネルギー関連ゾーン

